

西田小学校 同窓会 会報



発行：西田小学校同窓会



ご挨拶

同窓会会長 中澤 一郎（13期生）

本年は新型コロナウイルスの災いが世界中に拡がり衝撃を与えています。生物は単独では生きていきません。新型コロナウイルスは人と人の絆を裂こうとしています。今、社会は多世代が交流するコミュニティの形成に向けて舵がとられお互いに助け合う社会が求められています。地域におけるイベントや交流会なども開催できませんでした。また、開催にあたっては多くの制約の中で行われています。

しかし、過去多くの解明されない病に人類は打ち勝ってきました。より一層力を合わせてこの難局を乗り切る試練の時です。

生活の様式も一変して社会が大きく変わろうとしています。未来を担う子供たちにも大きな試練が続いています。休校で短縮された授業、運動会、学習発表会、校外活動など子供たちが楽しみにしている大切な行事が縮小されたり中止になったり、また保護者と教職員は校内消毒にも尽力されています。

この様な中、子どもたちが自分たちの知恵を出し合って自発的な活動を始めていることは、「西田の子ども」はすごいと感じさせられると同時に後輩たちを誇りに思います。

各期の卒業生諸氏も職場や家庭で影響を受けておられるでしょう。同窓会の活動もほぼ休眠状態です。

この様に変容する社会でインターネットを利用することが急速に進められています。同窓会においても、将来の為に必要ではないかと考えて皆様にメールアドレスの登録をお願いしているところです。パソコンは使わなくてもスマートフォンは利用している方も多いのではないかと思います。

現在会報を郵送している1500名の登録会員の約12%の方からアドレスを載せております。今後この数を増やしていきたいと思いますのでご協力をお願いいたします。

ホームページの問い合わせ・連絡欄を活用ください。なお、個人情報の管理は規約に定めており厳重に管理しております。

2022年は西田小学校創立80周年記念となります。なお一層同窓会諸氏の絆を深め母校の記念日を祝いしたいと存じます。記念式典へのご協力も宜しく願いいたします。同窓会の皆様におかれましてはますますお元気で活躍することを祈っております。

学校より

着任のご挨拶

西田小学校 副校長 神近正浩 先生

4月より、伝統ある西田小学校の副校長として着任しました神近正浩と申します。昨年までは、武蔵村山市で6年生の担任をしていました。副校長に昇任して初めての学校が西田小学校でした。始めは不安でいっぱいでしたが、同窓会の皆様をはじめ、地域の皆様、保護者の皆様からいつも温かい言葉かけをいただき、西田小学校に来て本当に良かったと日々感謝しています。

先日、住んでいる所沢の家の近隣の方に「今はどちらの学校に行かれているんですか。」と聞かれ、「杉並です。」と答えたところ、「杉並ですか・・・自分も中学生の時に杉並に住んでいたことがあるんですよ。松溪中学校ってご存知ですか。弟は西田小学校というところに通っていて」との返事でした。「自分は今、その西田小学校に勤務しているんですよ。」と話すと、とても喜んでいただき、中学時代に住んでいたところのお

話や西田小学校の近隣の様子などを楽しそうに話していただきました。自分の方も、最近の西田小学校の様子や同窓会があること、同窓会の方にたくさん助けをいただいていることをお話すると、とても喜んでいただき、楽しいひと時を過ごしました。偶然とはいえ、仲良くしていただいている近隣の方との出来事に、西田小学校に対する何とも言えない縁を感じ、ますます西田小学校のことが大好きになりました。

伝統ある西田小学校の一員になれたことを誇りに思い、精一杯頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。

同窓会の皆様におかれましては、消毒液の寄贈をはじめ、様々な場面でご協力をいただき、教職員一同心の底から感謝しております。2年後の周年行事では、様々な形で更にご協力をいただくことが多々あると思います。今後ともよろしくお願いいたします。

学校のように

★ 2020年2月22日(土)「ESD子供報告会」「NISHITA未来の学校パネルディスカッション」が体育館で開催されました。児童、教員、卒業生、地域の方々、他、多彩なテーマで30セッションの発表があり交流しました。



★ 2020年3月25日(火) 卒業式
卒業式は新型コロナの影響で戦後初めて規模を縮小しての開催でした。卒業生たちは新しい世界への夢と不安を胸に6年間の西田の思い出をかみしめて飛び立っていきました。

本年3月で、卒業生総数は11,784人となりました。

★ 2020年4月6日(月) 入学式

103名の新入生を迎え異例の校庭での開催でした。この後5月末までコロナの影響で休校となりました。

★ 2020年10月2日(金)「中秋の名月を見る会」

初めての企画で学校の屋上を使って開催されました。子供たちと保護者が多く集まり満月を観賞しました。



学校のように

★ 2020年10月24日(土)「西田体育の日」

恒例の運動会に代わり、子ども達主体の運動会が低学年・中学年・高学年とそれぞれ1時間ずつシェアして、それぞれの時間枠で開会の辞・全員リレー・各種競技をしました。半日でしたがコロナに負けず元気に競技を謳歌していました。

★ 2020年11月5日(木)「西田ナイトフェスタ」

5年生は通常ですと「富士学園移動教室」ですが今年はコロナの影響で宿泊付きの校外活動は出来ないこととなりました。

そこで、子どもたちが企画したのが「西田ナイトフェスタ」です。

カレーキャンプで夕食をとり、校舎を真っ暗にした肝試し、キャンプファイヤと富士学園での内容に合わせたものです。真っ暗な校舎の中からはあちらこちらから大きな悲鳴が上がっています。「キャー」「キャー」と走りながら逃げ出します。先生たちの化け物が迫力満点で本当に怖かったようです。

メインのキャンプファイヤでは校長先生が火の神として登場、1組、2組、3組の子どもにそれぞれ「絆の火」「平和の火」「希望の火」を点火しました。キャンプファイヤの始まりです。フォークダンス、ゲーム、等で夜の更けるのも忘れるほどに盛り上がりました。



★ 2020年11月20日(金)「出前講談」

6年生は日本の伝統文化の一つである「講談」を体験しました。先生となる講談師は真打の「神田山緑」さんで、講談とは?から始まって、何人かの有志が講談に挑戦しました。張扇(はりおうぎ)の打ち方と声の出し方をなどで皆の笑いをかっていましたが上手な子どももいました。そのあと、迫力ある講談「耳なし芳一」を聴きました。プロの迫力ある語りに感動していました。

この授業は学校と荻窪地域区民センター協議会との協働事業で地域と学校の連携となっています。



特別企画（西田小復興の話）

令和4年（2022年）には創立80周年を迎えます。西田小学校にかかわる教職員、保護者、卒業生等皆様方に戦中、戦後の西田小学校が置かれていた姿を、そして学校再建に尽くされた先人達の並々ならぬご努力を知っていただくため、同窓会報16号に掲載された前会長土屋忠夫様の記事を改めてご紹介させていただきます。関係者一同、力を合わせて創立80周年記念を共にお祝いできればと思います。

焼失校舎復興（1）

文責：土屋忠信の息子・土屋忠夫（3期生）

PTAは戦後の昭和22年（1947年）4月29日、父母と教師の会（PTA）として発足した。学校創立から5年後である。それまでは、保護者の会として、後援会と母の会の二つがあった。

PTAは此の二つの会も併合した形でスタートした。初代PTA会長は二代目後援会長であった筆者の父、土屋忠信が42歳で就任し、復興校舎（第二次校舎）建設が一段落するまで会長を続け、昭和23年、二代目会長井口三郎氏に引き継いだ。

多くの小学校が空襲で焼け、資材が不足する中、校舎再建の順番は、父兄の熱意次第ということで、後援会は猛烈に活動した。父が先頭で頑張っている姿をはっきりと記憶している。

校舎の復興が早かった分、材料も設計も劣悪で、学校創立10周年記念の祝典での来賓挨拶で「ボロ校舎を早く再建を」発言が出て物議をかもす場面があった。この辺のことがPTAの10周年記念誌に残されている。みずからの校舎がなく、桃二での寄校、二部授業に肩身の狭い思いをしてきた学校や後援会や母の会にしてみると、漸く持てた自分達の校舎をボロ呼ばわりされたことに「ボロ、ボロと云わないで」と反発したようだ。

そのボロ校舎も、落成式時（昭和22年7月）には先生方やPTAの役員が晴れやかな顔で下の写真に収まっている。

手元にある資料では

後援会（学校創立後すぐ発足）

初代会長 内海梅次郎。

二代目会長 土屋忠信。（一次校舎消失を経験）

PTA（終戦後発足）

初代会長 土屋忠信。

二代目会長 井口三郎。

三代目会長 矢代友三郎。

四代目会長 恩地孝四郎。

五代目会長 朝永振一郎。

となっている。

ここで、特に触れておきたい事は、この写真にはPTAの方だけではなく、地域の方が入っておられることである。後援会時代を通じて、地元の有力者も、学校復興に一方ならぬ貢献をして居られたことも記録しておきたい。

当時の後援会は男性中心であった。生徒の親の会と言うよりも先ず、学校を何とかしようとする、貧しい時代の地域パワーの担い手が後援会や母の会であったのだろう。

バラック校舎を建設する際、予算の都合ではずされた玄関（9.5坪）、中校舎玄関（7坪）、西便所（7坪）、応接室兼校長室（5.5坪）、謄写版室（2.2坪）が後援会・母の会の寄付で作られていた事が、当時の教頭の川野千代松先生（最後列右端）の文章に記録されている。先生は第5代の校長になられた。

前列左から4人目のダークスーツが土屋忠信会長、その右側ひとり置いて初代校長の山極武利先生。土屋忠信の左が当時の二代目校長の宮下恒寿先生（昭和21～22年）



焼失校舎復興（2）

西田小 後援会と母の会の嘆願書（草案）（昭和21年7月19日付）

濱真喜男先生が出版された自伝「共に育つ」の中に、この嘆願書の草案が記録されていた。これも西田小の歴史の一ページとして、ここに その一部を転記させていただいた。濱先生は集団疎開に最初から最後まで付き添われた4人の先生のお一人で、昭和23年まで西田小に勤務された。この嘆願書は草案とあるので本当に出状されたものかどうかは判らない。然し、昭和21年7月には未だ校舎建設が着手されていなかったことだけは判る。ところが翌昭和22年7月には落成式を行っている。（前4ページ参照）あの校舎は一年以内で完成したことになる。

嘆願書（草案）

『東京都教育局長殿 杉並区長殿』

東京都杉並区立西田小学校

後援会

母の会

・・・初代校長山極武利先生は本年3月末日まで新進気鋭の校長としてその蘊蓄を傾け精根を尽くして学校経営に当たられ、現杉七校長 上飯坂好実先生亦教頭として敏腕を奮はれ、帝都教育界に明星の如き輝きを発して居ったのであります。新鮮な研究意欲に燃えた 職員は固く手を握って堂々として教育の道にいそしんで来たのであります。特に国語教育における西田の存在は区内のみならず全都において指導的立場を取って居りました。

これに対し後援会・母の会の私共は全く一体となって親和と尊敬のうちに力を合わせてまいりました。

卒業生の進学状況は百パーセントに近き好成績、更に入学後は優秀な成績を収める者多く、私共一同喜びと感謝に溢れて居りました。時恰も丁度太平洋戦争熾烈となり、学童疎開の声盛んに呼ばれる頃となりましたが、私共は何とかこの校舎に残って居れぬだろうかと願った次第であります。然し戦局は愈々急を告げ遂に信州へ集団疎開、或は縁故疎開と四方に分かれて行かざるを得なくなりました。学童集団疎開はどこの

様子を聞いても初めてのことであり、問題があり消極的である様であります。西田校に於てはいささかもさようなことはなく、終始健全な生活教育が続けられて居ったのであります。

この間（19年8月より）西田本校校舎は兵舎に転用されることになりましたが、やがて空襲は激化し20年5月25・26日遂に私共の愛する校舎は焼失してしまいました。祖国と運命を共にしたとは言いながら、私共の家は殆ど無傷であるのに学校ばかりが失われたことを心から悲しみました。やがて、終戦となり 桃井第二の校舎の一部を使用して残留児童の教育が続けられました。

11月10日、150名の集団疎開よりの引揚げに前後して縁故疎開よりの復帰者、更に市内より戦災のため転居して来る者、瞬く間に疎開以前の人数になってしまいました。只今は入都制限がありますが、万一緩和の暁には千名突破を予想されます。之に対し現在の（桃二での：編集者註）使用教室は9室（内職員室1室）14学級で、5年生まで二部教授の余儀なき状態であります。かくては日本再建の基底たる教育の確立も単なる掛け声に過ぎなくなってしまいます。

幸に近き日に於いて建築を見ることが出来ますならば新日本の理想的学園建設に拍車をかけたい所存であります。

昭和21年7月1日

4代目 PTA 会長・恩地孝四郎氏と5代目 PTA 会長・朝永振一郎氏



① 安里文夫先生
② 浅沼第4代校長
③ 恩地孝四郎氏
④ 朝永振一郎氏

この写真は安里文夫先生のご遺品の中に残されていた。同窓会一期生の志甫哲夫氏が奥さまから頂いたもので、いつか同窓会の会報で使わせて頂く予定にしていた。

PTA 会長が4代目から5代目に引き継がれた際の記念写真であろう。学校創立10周年の行事の後であるから昭和27年から28年頃と思われる。

恩地氏は著名な彫刻家で画家である。勿論、朝永博士は後のノーベル物理学賞受賞者である。

恩地氏は正四角形と正三角形を組み合わせた西田小の校章をデザインされた。当時、男子は校章の付いた学帽で通学していたので、懐かしさを感じる卒業生も多い筈である。また 同氏は現在も歌われている校歌も作詞された。10周年記念誌の表紙をデザインされたことは 前述のとおりである。

山極校長先生との出会いについて、10周年記念誌に寄せられた同氏の文章があるので一部をご紹介します。

『・・・・・・。私も前から荻窪に住んでおりましたから、散歩のときに、これは良い学校が出来たと思いました。丁度、空襲警報下に丘の横の道に差しかった時、防空壕から初代校長山極先生に声を掛けられて、一緒に入れていただいたことを明るい風物と共に思い出します。（10周年式典で）山極先生にもお目にかかった。あれから10年、西田校に孫が通学するようになって、この頃は屢々校門をくぐるようになった。校舎も変った今、やはりあの当時の爽やかな健康な空気がはっきりと感じられる。・・・・あの頃の樹はのびている。10年、また10年、西田は爽やかな緑を茂らすでしょう。これを信じます。』この文章から、恩地氏はお孫さんが西田に通学するようになった関係で PTA 会長になられた珍しいケースであることも判る。残念なことに恩地氏は10周年行事の3年後に64歳で亡くなられた。

同窓生が学校で活躍

★ 2020年9月12日(土)

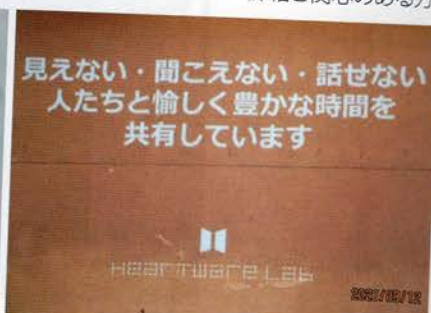
道徳授業地区公開講座が開催されました。昭和 50 年卒(32 期)米山(ちかし)様が講師を務められました。

西田小はユネスコスクールNISHITAとしての教育活動を進めていますので「人権・生命尊重」もテーマの一つとしています。米山様は盲ろう者などの重複障害者とのコミュニケーションツールを開発し、傷害のある方々と、一緒に遊んだりスポーツを愉しんでもらったりする活動を実践しています。端的な一例はマラソンの伴走です。一般にはタスキで手をつないで走りま

すが、このツールは支援者と非支援者それぞれの両手(人差指、中指、薬指)にセンサーを嵌め、指点字を使って遠隔でひらがなや状況(直進・止まれ・右・左など)を正確に伝えることができます。エネルギーギッシュな活動は自ら伴走者となり、またタンデムサイクリング(二人乗り自転車)に同乗したりしています。西田小の卒業生には素晴らしい仕事をしている人がいることがわかりました。

今後、ますますご活躍ください。

詳細で関心のある方はハートウェアラボで検索してください。



指点字センサー

★ 2020年10月6日(火)

6年生の授業に昭和21年卒(3期)川村秀様が「杉原千畝と私」というテーマでお話をされました。

杉原千畝氏についてはご承知の方も多いことと思います。第二次世界大戦末期にナチスによるユダヤ人大量殺人から6千人(家族を入れれば3倍~4倍)のユダヤ人の命を救った方です。リトアニア大使館において日本本国の命令に屈せず信念を曲げずに日本通行許可のビザを最後の最後まで発行し続けました。川村様は勤務された企業の配属先で杉原千畝氏の部下となられ親交を深めてこられたことから現在では杉原千畝氏の功

績を讃える世界各地での活動に協力されておられます。西田小の目指す「SDGs」実践校にふさわしい授業ができました。詳しくは一昨年発行の会報22号の「杉原千畝さんの思い出」で紹介されています。

戦争直後の混乱期に、確固としたモラルと正義感を身につけさせていただいた、おかげで、今日の自分を造ることができました。「西田小学校を卒業したことは、私の生涯の誇りです」と結ばれました。

杉原千畝氏の詳細をお知りになりたい方は綿密な研究で発刊された書物をお勧めします。

「杉原千畝の実像」古江孝治著(ミルトス社)



鈴木校長先生、川村、柏木、佐々木先生

私は4年から6年までの3年間で西田小学校で過ごした。小学校時代は本当に楽しかった。毎日無邪気に遊んで暮らしていた。

冬の朝、登校すると校庭でクラスの男子が馬乗りをやっている。僕も入れてと列に加わると、まず馬役をやられる。前の人の股の間に頭を突っ込んで馬の列を作ると、相手方がそこへ後ろからものすごい勢いで飛び乗ってくる。ケツでゴリゴリ押してなんとか馬を潰そうとする。潰れたら負けだ。たいてい潰される、という潰されるまで暴られる。相撲もやっていた。二つに分かれて総当たり戦だから、強い奴が勝ち残る。私はあっという間にやられた。放課後はよく野球をやっていた。狭い校庭で他のクラスの試合とごちゃ混ぜになりながらやっていた。いつだったか、下校時間になってもまだやりたくて、どこかの空き地に行きボールが見えなくなるまでやっていた。家に帰るとこんな遅くまで何していたとひどく叱られて泣いたが、あれが（私の人生で）親に叱られて泣いた最後だった。

クラスでチームのマークを作ることになり、誰かの提案で「西田」「竹中」（担任の竹中先生）の頭文字をとって「NT」となった。ところがうまい具合に私の頭文字も同じ「NT」なので嬉しかった。ワッペンを作って野球帽の前に貼った。



小学校5年夏休みの宿題の絵

クラスの委員では「新聞係」というのをやっていて、学級新聞を毎月1回発行していた。模造紙にクラスの出来事を書いて教室のうしろの壁に貼った。放課後に作っていたがそれでは間に合わず、日曜日にH君の家に数人が集まって作った。記事が足りなくなると馬鹿げた小話やクイズで誌面をつぶした。そういうことになると次々とアイデアを出す奴がいておしまいのはほとんどクイズ新聞だった。家の人にとってもよくしてもらった。

夏休みの宿題で絵を描くことがあり、8月の終わりの頃、題材を探しあぐねていた時、たまたま親戚の叔母がやってきてベッドでごろ寝をしていた。これだと決めて描いたら足裏だけが大きい妙な構図となってしまった。ところがそれがよかつたらしく、とても面白いと先生に褒められた。

家から学校に行く途中で善福寺川を渡るが、川は何度か氾濫した。一度、大雨の朝、家を出て橋のところまで行くと人だかりがして橋（松見橋・春日橋）が冠水して通れない。どうしようかと思っているとトラックに先生が乗ってやってきて大声で「西田小学校の生徒はこれに乗れ」と叫んでいる。何人かで荷台に乗せられ、遠回りして学校まで行った。

他にも次々と思い出が浮かんでくる。こうしてみると小学校時代がとても貴重な時間だったと改めて感じています。

西田レガシー歴史散歩

32期生（昭和50年卒）長谷川雅也

私は地域での「お散歩会」を実施しています。そのイベントについてご紹介させて頂きたいと思います。「イベント」といっても大掛かりなものではなく、「お散歩会」と銘打って杉並区内の神社や仏閣を回るもので、5年ほど前から開催しています。

その1年程前に、海外赴任から戻って少し地域を歩いてみたところ、杉並区内、私たちが育った地域にも沢山の史跡がありました。私の西田小学校在学中にプール建設予定だった学校の隣地に縄文遺跡が出て工事が延期・計画が変更になって松溪公園になったことは思い出として記憶に残っていますが、近所の史跡はこれだけではありませんでした。通学路の途中にあった「中道寺」が創建されたのは安土桃山時代の天正10年（1582年）、ちょうど本能寺の変で織田信長が命を落とした年になります。また、よくお祭りでお世話になった田端神社が創建されたのは、社伝によれば、それよりも更に100年以上古い応永年間（1394～1427年、京都での応仁の乱の少し前）関東での足利持氏と上杉禅秀間で争われた戦乱（応永23年（1416年）の「上杉禅秀の乱」と思われます）の頃と伝わります。

更に、田端神社近くにある共立女子学園研修センター辺りには鎌倉時代に建てられた「成宗城」というお城があつて、室町時代には江戸城主の太田道灌がここを確保、石神井城の豊島泰経と対峙する中、文明8年（1476年）に関東で発生した長尾景春の乱の最中、江古田・沼袋原近辺で両軍が激突、勝利した太田道灌の活躍により乱は鎮圧・・・と話題に事欠きません。

歩くコースは数キロ程度ですが、上記のような歴史物語や神話や伝説・伝承も話題として取り上げながら散策することで、我が国の悠久の歴史と古人の活躍に思いを馳せることの出来るイベントになっています。

今は、コロナの状況を見ながら、限定された形での開催になっていますが、主催している私自身も本当に楽しいイベントとなっています。同窓生何人かは参加頂いておりますがご興味ある方はご連絡を頂ければと思います。



田端神社



筆者とメンバー

西荻図書館にて（城山と七つ井戸のお話）

66年前の学校の様子

13期生（昭和31年卒）中澤一郎

私の竹馬の友、守屋（詫摩）君とは日の丸幼稚園、西田小学校、松溪中学校へ一緒に通った。

学校が終わっても毎日一緒だった。いつも可愛がってくださった彼のご母様が今夏に99才でお亡くなりになった。ご母様がなぜか大切に保管されていた書類は「西田PTA会報」昭和29年版であった。ガリ版刷が主流の時代にあって、わら半紙ではあるが立派な活版印刷B5版8ページ物である。記事も内容豊富である。PTA 対教職員親睦野球戦、PTA 庭球戦の様子、先生、PTA、生徒の寄稿が掲載されている。（まさにタイムカプセル）

大切に保管されていた理由は守屋（詫摩）君のお父上が57才老練投手として先発出場の記事が載っていたからである。最終的には速球投手岸上先生の登板で教職員チームの勝利となった。学校行事の報告に加え、生徒の寄稿は運動会、遠足、その他の感想文であり、いずれも素晴らしい表現力である。学校だよりを見よう。夏休みに盛りだくさんの行事である。

- 7月21日 水泳指導開始
- 7月22日 映画の夕
- 7月23日 富津臨海学園（三泊4日 5・6年生）
- 7月26日 読書指導開始
- 7月29日 東童劇団の演劇教室
- 7月31日 映画教室
- 8月1日 井の頭林間学校
- 8月8日 那須高原学園（三泊4日 6年生）
- 8月12日 映画の夕
- 8月14日 箱根高原学園（三泊4日 5年生）
- 8月21日 映画教室
- 9月1日 第二学期始業式
- 9月8日 夏休み作品展示と父兄懇談会
- 9月10日 校内映画会、蚕糸試験場見学（4年生）
- 9月15日 父兄参観日
- 10月3日 秋季運動会
- 10月12日 校内映画会、父兄懇談会
- 10月15日 小学校連合運動会

当時を思い出す貴重な会報を大切に保管していた
だいたご母様に感謝申し上げます。



昭和29年12月1日発行の「西田PTA会報」

会員からのメッセージ

令和2年1月からのメッセージですので約1年のズレがありますが、お許しください。

いずれはインターネットでの通信を可能にしましょう。

都筑孝夫 6期

戦争中、西田小校庭は陸軍の高射砲陣地の為、米軍の爆撃にて校舎は全焼した。戦後は桃二の校舎を借りて勉強しました。

宇治川多嘉子 9期

毎年「西田の丘フェス」に楽しく参加しております。

瀧沢美枝子 9期

80才になりまして元気です。

大久保和彦 12期

ハイテクは使用せず原始生活を楽しんでいます。

渡辺正子 12期

元気です。

小山田格 18期

牧師としての最後の働きを2年前より東小金井駅の近くで始めました。

福永陽子(西村) 18期

勤めている機能訓練デイサービスになんと10年先輩の西田小卒業生の方がいらっしゃいました。岸上先生、青木先生の話で盛り上がりました。

浅野晴夫 18期

まだまだ現役?ですよ。

奥村節雄 18期

元気に過ごしています。

栗田恒雅 19期

363日仕事場(歯科医院)に出しております。次の世代にバトンを渡せるまで走り続ける日々です。

岡本幹太郎 19期

日々、暇にして将棋、カラオケ、トレッキング会など楽しんでいます。事務所を立ち上げ、近所に部屋も借りています。

先生からのメッセージ

令和2年初頭に粕谷高子先生(昭和21年~24年勤務)からお手紙を頂戴しておりましたのでご紹介させていただきます。

粕谷高子先生(94才)

同窓会会報ありがとうございました。杉並は第二のふる里になりましたが、新米教師を育ててくださった西田校は決して忘れることはできません。会報で5・6期生のお名前を見るたび当時のことが懐かしく浮かんでまいります。

こちらの生活は毎日が「母の日」のようで感謝しています。まず5時半起床、6時出発、天気の良い日は絵葉書にあるような富士山を左手に畑の間を歩いて小出川(藤沢市・茅ヶ崎市)沿いの小公園で6時半のラジオ

体操をします。毎朝30人くらい集まります。この体操は今から15年ぐらい前ポータブル(ラジオ)を用意される方があって自然に集まって出来たそうです。雨の時は近く的高速道路下が会場になります。

毎月のように計画される市や地域の老人のための行事にはできるだけ参加するようにしています。転倒予防教室、認知症予防教室毎月お会いしているうちにお友達になり、おしゃべりもはずみ一層楽しくなります。その他映画教室、年一回の生け花教室にも参加しています。「生きるに休みなく、老いるも仕事なり」西田小学校並びに同窓会の益々の発展を祈念しております。

{10月お電話いたしましたところ大変お元気で94才とは思えぬお声でした。中澤}

役員会・世話人会より

★ 2020年6月16日に「定時世話人会」が開催されました。2019年度(令和元)1年間の活動内容および会計・監査報告および2020年度(令和2)の事業計画案・予算案が検討され承認されました。

1号議案 2019年度事業報告

1) 第98回理事会 <決算理事会>

- ・日時：2019年6月9日(日) 午後5時～6時
- ・会場：かふえ&ほーる with 遊
 - (1) 2018年度事業報告と収支会計報告・監査報告の審議、承認の件(世話人会準備)
 - (2) 2019年度事業計画と収支予算案の審議、承認の件(世話人会準備)

2) 第99回理事会

- ・日時：2020年1月12日(日) 午前11時～12時
- ・会場：西田小学校家庭科室
 - (1) 2019年度中間報告承認の件
 - (2) 2020年度事業計画案承認の件

3) 世話人会

- ・日時：2019年6月16日(日) 午後1時～3時
- ・会場：荻窪地域区民センター 第4・5集会室
 - (1) 2018年度事業報告・収支会計報告・監査報告の承認の件
 - (2) 2019年度事業計画・収支予算案承認の件
 - (3) 学校行事協賛活動承認の件
 - (4) 「同窓会からのたより」発行承認の件
発送日2019年8月
 - (5) 同窓会会報の発行承認の件
2019年12月末発行
 - (6) ホームページ開設報告の件

4) 学校行事協賛活動

- (1) サマーキャンプへの協働・協賛
2019年7月6日(土)
- (2) 「2019西田の丘フェス」への協働・協賛
2019年11月23日(祝)
- 5) 「同窓会からのたより」の発行
2019年8月12日(祝)
- 6) 同窓会会報の発行
2020年1月12日(日)
- 7) ホームページの開設
2020年1月12日(日)

2号議案:2019年度(28期)一般会計収支報告(監査報告)

会計報告及び監査報告の詳細はホームページ掲載のため記載しておりません、開示につきましては別途お申し出ください。

3号議案 2020年度事業計画(案)

1) 第100回決算理事会開催

- ・日時：2020年6月7日(日) 午前10時～11時
- ・会場：かふえ&ほーる with 遊

2) 2019年度世話人会開催

- ・日時：2020年6月21日(日) 午後1時～3時
- ・会場：荻窪地域区民センター第4・5集会室

3) 「同窓会たより」今年度から発行作業はせず、ホームページへの掲載のみとする。

4) 「同窓会会報」の発行 2020年12月下旬頃

5) ホームページのメンテナンスと拡充 費用77,000円位

6) サマーキャンプへの協働・協賛 ⇒コロナウイルスの影響で中止

7) 「2020西田の丘フェス」協働・協賛 ⇒コロナウイルスの影響で中止

8) 西田小昔遊び手伝い、例年12月初旬。

9) 学校校庭開放協力(9月～ 毎週1回水曜日 午前7時45分～8時15分) 監視員1名派遣

10) 賀寿祝い

4号議案 2020年度(29期) 予算案

予算案の詳細はホームページ掲載のため記載しておりません、開示につきましては別途お申し出ください。

5号議案 理事・世話人退任と就任について

・世話人、鐘俊幸様は病気療養中のため活動が不可であるとの連絡があり、退任を受理。

・今後の同窓会活動を発展充実させるため、若い層の役員・世話人の発掘活動を引き続き行います。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

★その他学校支援

2020年6月・7月・9月にかけて新型コロナウイルス対策として校内消毒用アルコールを寄付しました。

★同窓会通信

2020年6月からメールアドレスのご登録者へ同窓会通信を開始しました。

メールアドレスの登録をお願いします。